

知恵と気遣いの「世代間継承」!

「春日部地区浦高会 令和5年度総会」を終えて

9月3日(日)17時から、春日部駅西口のやまや新館にて「春日部地区浦高会 令和5年度総会」が開催され、3名のご来賓臨席の中で20名の会員による慎重審議が行われ3つの議案が承認されました。

■春日部地区浦高会 令和5年度総会議事

◆第1号議案 令和4年度事業報告及び決算(案)

【内部事業】令和4年度はコロナ禍の影響もあり、9月総会が書面決議、3月の賀詞交歓会と2回の幹事会、1回のゴルフコンペを開催しました。残念なことに会員お二人の訃報もあり、生花をお供えました。

【外部事業】同窓会主催の総会や浦高百年の森づくりへの参加、湘南浦高会主催の「鎌倉散策」などに参加させていただきました。

【決算】賀詞交歓会と供花代等の支出で、収支は253千円余でした。

◆第2号議案 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)

【事業計画】9月の総会も対面形式に戻り、コロナ禍以前の活動に戻していきたい。

【予算】収支476千円の予算とする。

◆第3号議案 令和6・7年度同窓会代議員の推薦(案)

【推薦者】当会副会長の由木智さん(36回)を推薦する。

ご来賓の浦高同窓会会長の野辺 博様(24回)からは、現在の同窓会の活動状況についてのお話がありました。「本部では、同窓会の中長期的な事業・財政計画を検討する小委員会を進めており、同窓会副会長として香田さんにまとめ役をお願いし、提出された報告書を正副会長で検討して10月の理事会に報告する予定です。また、母校グラウンドの人工芝化も目標の6,600万円に対して6,000万円まで寄附が集まっているとのこと、もう一步、皆様のご支援をお願いします。つい最近の話題としては、埼玉県男女共同参画苦情処理委員会による勧告が8月30日にあり、『埼玉県立の男子高校が女子が女子であることを理由に入学を拒んでいる事。女子の入学は当然認めるべきだ。女子差別撤廃条例に違反している事態は是正されるべきだ』という申出に対して『共学化が早期に実現されるべきである』という勧告内容でした。2002年にも共学化の勧告が出されて話題になりましたが、女子高側の反対も大きく話がなくなりました。今回は男子校だけを対象とした勧告であり、今後は動向を注視するとともに、会員の皆さんの意見を聞いていきたい」

総会後の懇親会では、ご来賓の湘南浦高会会長の平井隆一様(21回)から『湘南浦高会通信第15号』が配布されるとともにご挨拶がありました。「湘南浦高会は1997年に高校4回卒の方々が中心となり設立されましたが、その後、活動が途絶えサロンのような状況が続きました。そして2014年に柳

川前会長の下で復活し、今年10回目の総会を開催することができました。また、4月15日に開催した鎌倉散策には、春日部地区浦高会からは石塚勝巳さん、大宮浦高会など他の地域同窓会からの参加者もあり16名で開催できました。その他、湘南高校との湘南戦がバレー部(現役生)で行われ、そうした活動を応援するなど地域性を生かした活動を行っております。今日は活発な活動を続けられている春日部地区浦高会の秘訣を学びたいと思っています。」

浦高同窓会本部事務局長の篠田雅彦様(32回)からは『校歌』に関するお話がありました。「県立浦高の校歌は、旧制中学時代の明治39年に大和田健樹氏作詞、鈴木米次郎作曲で作られましたが、旧制中学でできたのは2番目に古く、残っている校歌の中でもベスト3に入る優れた校歌だと思います。そもそも明治に入り西洋音楽が海外から入ってきて、学校制度とともに広まるのですが、当時音楽は子女の文化というようなイメージが強く、女学校などは早く校歌を定めましたが、男子校での制定は遅れました。しかも、戦後に新学制が始まるとともに、共学化が進み校歌が新たに作られたりして、旧制中学校の校歌を継承していないケースが多く、継承された校歌を歌い継いでいる学校は数が少ない状況です。さらに、公立で男子校と女子高が残っているのは埼玉県、栃木県、群馬県の3県となっています。そんな思いを持って校歌を味わいたいと思います。」

ご来賓の方々のお話からは、新たな想いが生まれますね。その後の会員の皆様からの近況報告は、林 亮平幹事(52回)の楽しい進行により和やかに2時間の懇親会を終えることができました。



帰宅された平井様から「春日部地区浦高会が活発に20年以上も続いていることの秘訣を学ぶことが出来ました。それは世代間継承です。これが上手くいっているのだから、80歳台を筆頭に70歳台、60歳台、50歳台、40歳台と切れ目無く繋がっているなんて、何と素晴らしいことでしょうか!」とのお褒めの言葉をいただきました。春日部地区浦高会を支えて来られた石井治初代会長、三輪昭彦2代会長、根本崇3代会長、さらに役員の方々の皆さんから受け継いだ知恵と気遣いが当会の大きな財産です。